

感染状況・医療提供体制の分析(10月27日公表)

【岡山県専門家有志】
(東京都統括コメント参照) 詳細



区分	モニタリング項目 ①、②は公表の前週(月～日)の合計 ③～⑤は公表の週の水曜日時点	前回の数値 (10月20日公表)	現在の数値 (10月27日公表)	前回との比較	分析コメント	
感染状況	① 定点当たり患者報告数 <small>(注:報告者数は、県内84定点医療機関において、1週間に診断した患者数。定点当たり数は、1医療機関当たりの、1週間での平均患者数。)</small>	報告数	274人	255人	→	感染状況コメント レベル2. 感染縮小しつつあるが注意が必要
	定点当たり数	3.26人	3.04人	→		
	報告数に占める60歳以上の割合	30.3%	26.3%	→	定点当たり患者報告数は 3.04人 と不変。但し、インフルエンザの患者数増加し(定点当9.71人)、インフルエンザ注意報発令中。 全国的にも岡山でも新型コロナ感染は落ち着いているが、インフルエンザは増加継続。体調不良時は外出しないといった心がけや、状況に応じたマスクの適正使用が必要。高齢者や重症化リスクのある方は、重症化を防ぐために新型コロナワクチン接種が推奨される。また、早めのインフルエンザワクチン接種も推奨される。	
	岡山市保健所	2.14人	1.45人	→		
	倉敷市保健所	3.38人	3.56人	→		
	備前保健所	3.27人	2.40人	→		
	備中保健所	4.08人	5.17人	→		
	備北保健所	5.50人	5.50人	→		
② 保健所別定点当たり患者報告数 <small>(注:定点医療機関は、地域により患者数や患者の年齢構成にばらつきがあり、地域別の単純比較は多少の問題があるが、同じ地域で時系列の変動を見て、流行の推移を見るには有用)</small>	真庭保健所	2.00人	2.33人	→		
美作保健所	2.80人	2.80人	→			
医療提供体制	③ 入院報告数	121人	71人	→	医療提供体制コメント レベル2. 体制逼迫の状態は緩和されつつあると思われる	
	④ 重症者数	1人	0人	→	入院報告数も減少傾向。新型コロナウィルス患者の入院は継続するも、県全体としては医療提供体制は安定している。	